

横浜市の防災イベントで地域住民に自衛隊をPR 「災害派遣活動中の装備品支援に地元消防署長も感謝」



中消防署の太田署長（左）と平原所長

自衛隊ブースで来場者は、普段見ることのない自衛隊の装備に興味を示し、荷台に乗って装備品をバックに記念写真を撮ったり、隊員へ質問をするなどして終始大勢の人で賑わった。また、最新の災害派遣の写真パネルを展示するとともに、非常食の缶詰を使ったクイズに子供から大人まで多くの来場者が挑戦していた。主催者側の中消防

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、11月9日（土）横浜市中消防署と中区役所などが主催する横浜市中区日本大通りで行われた「防災イベント」に参加した。
これは中消防署100周年を記念して行われたもので、陸上自衛隊からは練馬駐屯地の第1後方支援連隊補給隊が浄水セツトを展示し、その他米海軍日本管区司令部消防隊、神奈川県警などが参加した。



支援してくれた補給隊の塩谷（しおや）2曹（中央）と大川士長（左）、支援を頂いた栗原募集相談員会長



装備品を見学する来場者



自衛隊ブースでの様子



署長も自衛隊ブースに挨拶に来られ、災害派遣中の部隊に対する労いと、そのよ
うな中での装備品展示支援に感謝の言葉を述べられた。
当日は朝方や寒さも感じられる天候だったが昼過ぎからは晴れて暖かくな
り、自衛隊・警察・消防のイベントは成功裏に終了した。
横浜中央募集案内所は、「今後もこのような地域イベントに積極的に参加し、
地域の方に自衛隊への理解を深めてもらうとともに、日頃から消防・警察など
と連携して良好な関係を維持していき、募集成果につないでいきたい」として
いる。